

## 令和4年度 学校評価（目標設定）

	視 点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取 組 の 内 容	
				具体的な方策	評価の観点
1	学習指導 教育課程	カリキュラム・マネジメントの視点に基づいた系統性のある教育課程を編成し、指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の実態に応じて、伸ばしたい力を保護者本人と共有し、三つの柱（学びに向かう力・人間性、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等）に基づいてねらいを明確にした授業づくりを行い、達成度等をわかりやすく伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容表や単元計画表を活用する。</li> <li>・授業内容の妥当性と評価方法の検討と検証を、研究授業等を通して行う。</li> <li>・授業参観、授業公開、ホームページ等で積極的に学習活動の様子を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談等で伸ばしたい力を共有できたか。</li> <li>・個々のねらいを三つの柱に基づいて明確に設定できたか。</li> <li>・達成度や成果、活動の様子を面談や授業参観等で発信できたか。</li> </ul>
2	児童生徒指導・支援	児童・生徒一人ひとりが、自分やお互いを尊重し、高めあう力を育むための支援・指導を組織的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材やICT機器を活用し、児童・生徒がお互いの良さを認め合えるよう学習活動の展開等を工夫した授業（支援・指導）を組織的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じたコミュニケーション指導の手立てを学部研究や研究授業等で共有する。</li> <li>・教育的ニーズに応じたICT機器を活用した指導を行う。</li> <li>・障害者理解等への正しい知識を確実に身につける。</li> <li>・ホームページ等で積極的に学習活動の様子を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒がお互いの良さを実感できる教材や手立てだったか。</li> <li>・教育的ニーズに応じたICT機器を活用した指導を行ったか。</li> <li>・学習活動の展開を工夫したか。</li> </ul>
3	進路指導・支援	児童・生徒一人ひとりが、卒業後に地域社会の一員として自分らしく参加できるよう、主体的な活動を促す支援・指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の自立と社会参加に向けた授業実践を行い、体験してわかったことを本人へフィードバックして主体的で確かな成長につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後のイメージを本人、担任、保護者で共有する。</li> <li>・実習等の体験をシートに記入して振り返り、実生活の場面で生かすよう支援する。</li> <li>・進路に関わる情報発信を十分に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な学習活動を実践できたか。</li> <li>・体験を振り返り、自分自身の成長につなげられるよう支援したか。</li> <li>・進路に関わる情報を十分に発信できたか。</li> </ul>
4	地域等との協働	共生社会の実現に向け、地域のセンター的機能の充実を図るとともに、地域等と連携協働した活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目ない支援部会と連携し、ボランティア活動や防災対策などセンター的機能も生かしながら地域と協働して互いにプラスになるように取組み、積極的に学校を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社ギオンとの連携を通じた交流（SC相模原を地域で応援しようなどボランティア活動等）</li> <li>・自治会との連携（防災の取組）</li> <li>・麻溝公民館との交流</li> <li>・橋本高等学校との2校学び合いの推進</li> <li>・学校ホームページの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目ない支援部会と連携できたか。</li> <li>・地域等と協働して互いにプラスになる活動ができたか。</li> <li>・学校の取組を積極的に発信できたか。</li> </ul>
5	学校運営 学校管理	同僚性と専門性の高い人材を育成しつつ、安心安全で、機能性柔軟性のある学校組織づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全防災対策や感染症防止対策に努めるとともに、教職員の専門性の向上と不祥事事故防止に努め、保護者（PTA）との信頼関係を築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の運営組織（校務分掌）を見直した後の業務遂行状況の把握と改善</li> <li>・職員数が増えることにもなる風通しの良い職場づくり</li> <li>・不祥事事故防止研修に取組む、教員名札の着用とさん付け呼称を推進する、外部講師の活用、職場討議の継続</li> <li>・学校の取組の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きやすい職場環境を整備できたか。</li> <li>・不祥事事故防止研修や職場討議を通して専門性を高めたか。</li> <li>・名札の着用とさん付けを推進できたか。</li> <li>・取組を情報発信できたか。</li> </ul>